



1月号 令和5年1月13日発行 荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel.911-0149]



多様な他者との「協働的な学び」で大切にしたいこと ～好奇心と相手を思いやる想像力～

校長 伊藤 智樹

新年明けましておめでとうございます。いつもより長い冬休みでした。体調管理などに日々ご協力くださった保護者の皆様には心より感謝申し上げます。3年ぶりに大きな行動制限の要請がない年末年始でしたが、新型コロナ感染症だけでなくインフルエンザも流行期に入ったとの報道もあります。新型コロナ感染症およびインフルエンザ感染症への見通しがなかなかもてない中ですが、ガイドラインに基づいた感染症対策を取りながら教育活動は継続していきたいと考えています。



今年1年が皆様にとりまして、充実した時となりますようお祈り申し上げます。

大切なのは、好奇心と想像力です。好奇心がないと人生がつまらなくなり、生きている喜びもなくなります。想像力がないと、他人の悲しみや苦しみ、痛みがわかりません。想像力というのは、鍛えないと衰えて枯渇します。他人（ひと）がどんなに苦しんでいるか、顔や様子を見て想像する力を衰えさせてはいけません。（他者への）想像力はみんな持っています。でも、鍛えないと磨り減って鈍くなってしまいます。

上記の文章は2021年に亡くなられた尼僧の瀬戸内寂聴さんの言葉です。『多様な他者との協働的な学び』に向けて「個別最適な学びとは何か」「子どもたちに身に付けさせたい力とは何か」「人権教育とは何か」等、今までの教育活動を私たち教職員が振り返ることの大切さを瀬戸内さんの言葉が示しているのではないかと思います。

学校現場もGIGA 端末等の整備により資料収集などの検索や情報共有・通信などのスキルに関しては教職員も子どもたちにも身につけてきました。その一方で昨年度の学校だよりでも書かせて頂きましたが、単なる「知識の検索」になっていないか、その知識の背景にある「人の営みや知恵」まで想像しているのだろうかと感じることがあります。

また年末の新聞には次のような見出しで特集記事が掲載されていました。

「時間効率(タイムパフォーマンス)を求めて追われて」 視聴も食事も 令和4年12月30日朝日新聞

記事によると映画や動画の倍速視聴をした人の割合が20～60代の3人に1人、20代に絞ると半数近くになるそうです。スマホの普及により SNS の全盛や動画配信サービスの広まり等による消化しきれないほどの飛躍的な情報量増大がその背景にあるようです。

これでは内容を見るだけで終わってしまい、事象を通してその背景にある「人の営みや知恵」「人の気持ち」まで想像することは難しくなります。私たち教職員は、目には見えない人の心に思いを馳せ互いを思いやる気持ちを忘れないことなど、教育活動を通して想像力を鍛えていく必要があります。



コロナ禍で教育活動が制限されている中ではありますが、学校や家庭、地域や社会でそれぞれが互いに連携し合いながら「子どもたちの好奇心と想像力」を培っていければと思います。今年も地域と共に歩み、保護者・地域の皆様から信頼できる学校を目指し、教職員一丸となって努力を積み重ねて参ります。昨年同様、温かいご支援ご協力をよろしくお祈りいたします。